

第184回 令和8年2月27日（金）

## 「新しいことに挑戦することについて。」

休日の朝に10キロ程度ランニングしていることは何度かお話ししています。ランニングのコースは5キロほど離れた折り返し地点まで往復するのですが、帰りのほうが、時間が短い気がします。

スマホで1キロごとのタイムが見られますが、実際には10キロ手前には疲労困憊で遅くなっているのでむしろ帰りのほうに時間がかかっています。それでも感覚として行きは「いつになったら着くのかな」という感じですが帰りは「もうここまで来たのか」と思います。

不思議と人間は「道のり」や「やる事」が明確になると時間が短く感じる傾向があります。小学校、中学校、高校でも1年生の始めのころが結構長く感じたのではないのでしょうか。反対に3年生はあっという間という覚えはありませんか？

人生も同じで年をとるにつれ、この時期に何をやるかがだいたいわかってくるので1年間が早く感じます。30代、40代、50代とスピードが上がり、80代の方は「還暦が昨日のようだ」と思うそうです。

これではあっという間に年をとって人生が終焉を迎えてしまいます。それを防ぐ方法は「新しいことを始める」ことだそうです。

新しいことにチャレンジすると「道のり」がわからない分、時間が長く感じるということでした。また得るものも多いので充実感につながるかもしれません。

1つのことを継続することは価値があることだと思います。それでもある程度自分の中で極めたら次は別のことをスタートから始めてみるのも良いことだと思います。

人間は成功するとその地位を捨てられなくなります。いつの間にか新しいことに挑戦する意欲を失って、現状を維持することに執着するようになります。地位や肩書を手放すことは勇気があることですが、一度しかない人生ですからチャレンジしてみるのも一つの方法だと思います。

私も時期が来たらいろいろなことにチャレンジしてみたいと思っています。学校の教員は職員室の外のことに触れる機会が少ないので、今のうちから興味のあることを見つけて候補を選んでおきたいと考えています。

みなさんの年齢は一つの夢に向かって邁進することが良いと思いますが、心のどこかに留めておいて、いくつになっても興味のある新たなことにチャレンジできる人間になってほしいと思います。